

12/7 人権を考える市民の集い 2025

伊賀市文化会館で、「人権を考える市民の集い 2025」を開催しました。第1部では、人権作品の表彰や作文部門の市長賞受賞者による作文の朗読がありました。第2部では、原田朋記さんと愛理さんがこどもの気持ちをテーマに講演を行いました。この日会場には多くの人が訪れ、人権の大切さについて深く考える機会となりました。



12/8・9 伊賀就労マルシェ

伊賀市と名張市内にある就労系障害福祉サービス事業所が参加し、物品販売などを行いました。開催した2日間は、多くの人で賑わいました。来場者は出店者と交流をしながら、買い物を楽しんでいる様子でした。

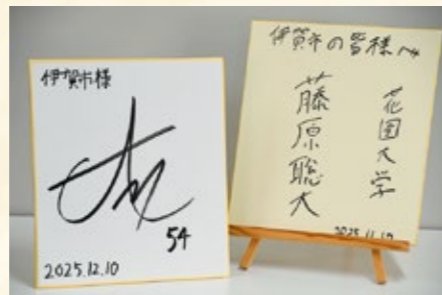


12/10 西川篤夢選手 表敬訪問



神村学園伊賀の西川 篤夢選手（伊賀市出身）が伊賀市役所を訪れました。西川選手は広島東洋カープからドラフト指名され、「スピーディーな守備と肩の強さを生かし、多くの人に夢と希望を与えたい」と話してくれました。稲森市長からは「これから大きな舞台で生き生きと大活躍してほしい」と激励の言葉を贈りました。西川選手の今後の活躍を期待し、伊賀市全体で応援しましょう。

◆西川選手からサインをいただきました



◆左側が西川選手のサイン。右側は花園大学の藤原聡大選手（伊賀市出身）のサイン。藤原選手は東北楽天ゴールデンイーグルスからドラフト指名されました。

今月の表紙



今月の表紙は、伊賀上野城を背景に勇ましいポーズをとる俳優の佳久 創さんです。大河ドラマ「豊臣兄弟！」に出演する佳久さん（藤堂高虎役）がロケで伊賀市を訪れました。撮影場所である伊賀上野城は、高さ約30mの高石垣や白亜の木造天守閣が特徴です。初めて伊賀上野城を訪れた佳久さんは、その壮大さに感動している様子でした。

今後の佳久さんの活躍をお楽しみに。

◆佳久さんから伊賀市の皆さんへメッセージ

忍者の歴史が息づくこの地を訪れることができ、とても興奮しています。そして、伊賀市は築城の名手としても知られる藤堂高虎のゆかりの地でもあります。その高虎が今年大河ドラマで活躍しますので、皆さんぜひ注目してください！

広報 いが 2月号

もくじ

- 03 まちかど通信
- 04 特集 2/22 忍者の日！
伊賀流忍者体験施設「万川集海」を大公開
- 07 新図書館開館、分館再編のお知らせ
- 08 環境保全啓発ポスター入賞作品
「広報いが」市内設置場所
- 09 知って得する農業者年金
水道基本料金を2カ月間半額にします
農業委員会委員・農地利用最適化推進委員募集
- 10 暮らしの情報
- 16 スポーツの力
- 17 図書館だより
- 18 伊賀城和定住自立圏ニュース
- 19 公共交通だより
となりまちい・こ・か
- 20 伊賀市の文化財
イガプロ
- 21 上野総合市民病院だより
明日に向かって（人権コラム）
- 22 3月の子育てカレンダー
- 23 3月の無料相談
- 24 いがフォト
2月の二次救急実施病院

大河ドラマ 豊臣兄弟

大河ドラマ「豊臣兄弟！」

総合 毎週日曜 午後8時

NHK BS 毎週日曜 午後6時

プレミアム4K 毎週日曜 午後0時15分

NHK ONE で同時・見逃し配信

伊賀市長稲森としなお できごとコラム Vol.10

共に暮らし、共に築く未来

伊賀市に暮らす外国人は現在約6300人。市民の14人に1人となります。1990年代に製造業を支える方々を迎えて以来、「共に暮らす」歩みが続けてきました。今では伊賀で学び育ったこどもたちが、地域を支える存在となつていきます。文化の違いから摩擦もあつたかもしれませんが、地域の皆さんが対話と交流を続けてきた30年以上の歴史こそが伊賀市の宝です。

多文化共生の魅力は、まちが「さらに住みやすく」なることです。例えば、言葉の壁を越える工夫は、こどもや高齢者にも情報が伝わりやすいまちづくりにつながります。また、人権が尊重され、誰もが役割を担う「インクルージョン（包摂）」な社会こそが、市民みんなにとって心地よい場所になるはずですよ。

まずは日常のあいさつで、国際交流のイベントで、顔の見える関係を広げてみませんか。お互いを否定するのではなく、伊賀を愛する大切な一員として。

外国につながる子どもたちのための冬季セミナーであいさつ

